

笠間が好きなひと。応援したいひと。この指とまれ！

笠間ファン倶楽部通信

2008 夏号

VOL.015



http://www.city.kasama.lg.jp/ss_info/fanclub/index.html



Kasama

表紙の写真/十六夜まつり(左上)、笠間芸妓組合の稽古の様子(右上)、
岩間 夏まつり(左下)、佐白山のニイニイゼミ(右下)

笠間再発見！

芸妓さんがいる街 ～かさま観光大使が稽古を体験～

笠間昔話

メイド・イン・笠間で行こう！

友部駅前七夕まつり

手作りジャム「楽農工房」

夏のイベント情報 観光客が選ぶおすすめショップ FAN FAN KASAMA 我らは笠間応援団！ ほか

友部駅前七夕まつり (昭和33年8月)



昭和33年

友部駅から見た駅前の様子。走る車のデザインが昭和を感じさせてくれます。(撮影/井手十三一・いでとみかず)

平成20年



現在の友部駅前。当時から続くお店も少なくありません。ちなみに駅舎は平成19年3月に全面改築され、従来の南口に加えて北口からも利用できるようになりました。

平成20年



昭和33年



昭和33年11月に撮影された友部駅。左側に小さく見えているのが、七夕まつりの写真にあるお巡りさんの人形。ここから手前に、駅前通りが続いています。(撮影/井手十三一・いでとみかず)

のどかで元気を感じる友部駅前です

今回は、友部地区のお話です。戦後の昭和20年代、全国的な町村合併の動きがある中で、昭和30年1月15日、宍戸町、北川根村、大原村の三町村が合併し、友部町が誕生しました。さらに3月31日には、鯉淵村の一部が編入されました。人口は1万8,817人の新しい町です。その後、昭和33年6月には、新庁舎も完成し、新たなまちづくりがスタートしたのです。また、昭和31年1月に、茨城県立中央病院、34年2月に友部町国保病院、35年8月に茨城県立友部病院と続いて開設され、優れた医療施設が整う町として名立たる町になりました。

1 番上の写真は、昭和33年8月20日から22日まで行われた

七夕まつりの、友部駅前から見たところです。昭和9年に霞ヶ浦航空隊の分遣隊が開設されてから、友部駅前の商店街は急に活気を帯びるようになり、共同大売り出しをたびたび行いました。昭和29年からは夏祭り行事として、七夕まつりを始め、納涼大会の開催などで逐年、繁昌を続けてきました。当時は、各お店が徹夜で七夕のお飾りを作っていたそうです。通りには出店も並び、夕方から夜にかけては、多くの人々にぎわいました。友部駅前広場では、盆踊りや芸能大会なども行われ、人々の集う憩いの場所だったようです。のどかでありながら、元気を感じる友部駅前の様子です。

夏のイベント情報

かさま梅フェスタ

6/28(土) 10:00~16:00
予備日6/29(日) ※小雨時は決行
料/当日参加1人2,800円
(梅干し・梅ジュース作り・先着30名)
ほかに、梅大福や梅ジュースなどの無料配布、梅の種とばしなどのイベント(自由参加)を開催。
場/笠間工芸の丘 クラフトホール前
問/笠間市農政課 岩間分室 tel 0299-37-6611

笠間稲荷神社

車の茅の輪くぐり
6/29(日) 10:00~15:00
場/公営稲荷駐車場
料/1,000円~(御はらい料)
夏越しの大祓式~茅の輪くぐり~
6/30(月) 16:30~
場/笠間稲荷神社境内
献灯祭
8/3(日) 17:00~
場/笠間稲荷神社拝殿・境内
問/笠間稲荷神社 tel 0296-73-0001
www.kasama.jp

出雲大社 常陸教會

夏越大祓祭 6/29(日) 14:00~
ガラスフェア(出雲館) 8/10(日)~8/17(日)
みたままつり 8/16(土) 18:00~
秋季御魂殿大祭 9/23(火・祝) 11:00~
問/tel 0296-74-3000
www.izumotaisha.or.jp

笠間工芸の丘

Simple Life 高橋春夫陶展 7/2(水)~7/13(日)
それぞれの表現 7/2(水)~7/13(日)
朝倉望象作陶展 7/16(水)~7/27(日)
食卓の情景展 7/16(水)~8/17(日)
浅野健治陶芸展(泥彩画の世界) 7/30(水)~8/17(日)
森羅山房窯・20周年作陶展 8/20(水)~8/31(日)
Love Laugh展 8/20(水)~8/31(日)
永島君江陶人形展 9/3(水)~9/21(日)
宮本雅宏・まり展 9/10(水)~9/21(日)
長山六の器展 9/23(火・祝)~10/5(日)
鍛冶工房 studio zwel vol.4 9/23(火・祝)~10/5(日)
問/tel 0296-70-1313
www.kasama-crafthills.co.jp

笠間日動美術館

笠間日動美術館企画展「竹久夢二展」
7/5(土)~8/31(日) 9:30~17:00(受付は16:30まで)
休/月曜(祝日の場合は翌日)
料/大人1,000円、大高生700円、中小生500円、
65歳以上800円
問/tel 0296-72-2160
www.nichido-garo.co.jp/museum

グリーンフェスタかさま2008

7/5(土) 16:00~18:30(予定)
場/穴戸ヒルズカントリークラブ イベント広場
UBS日本ゴルフツアー選手権の開催に伴って行われる一大イベント。和太鼓の演奏やフラダンス、出場選手のチャリティーオークション、お子様向けショーの開催を予定。また巨大鍋で作る500人前のパエリアの無料配布(整理券配布)もあります。
問/社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama

茨城県陶芸美術館

青磁を極める~ 岡部頼男展
7/12(土)~9/7(日) 9:30~17:00(受付は16:30まで)
料/一般600円、大高生500円、小中高生250円
休/月曜(祝日の場合は翌日)
問/tel 0296-70-0011
www.tougei.museum.ibk.ed.jp

夏休み親子わくわくアート

陶芸教室
7/19(土)~7/27(日) ※22(火)は除く
絵画・ポスター教室
※事前説明会 7/20(日) 11:00~12:00
7/26(土)・7/27(日)・8/2(土)・8/3(日)・8/9(土)・
8/10(日)・8/17(日)
場/笠間工芸の丘
料/2,100円
問/笠間工芸の丘 tel 0296-70-1313
www.kasama-crafthills.co.jp

平神社 祇園祭(花火大会)

7/26(土)・7/27(日)
花火大会は7/26(土)20:00~(雨天順延)
昔ながらの當家制度を受継ぐ祭。上町、中町、下町、橋爪の四町で神輿を担ぎ、各町内をもみ歩きます。当主は神輿が當家に来るまでの間、四方竹の中にもこもり、神輿渡御中は、話すことを禁じられます。また、1年間、キュウリと川魚を口にははいけなそうです。
場/平町、橋爪地区
問/當家町代表・大内 tel 0296-77-1231

八雲神社 夏季例祭

7/26(土)・7/27(日) (予定)
勇ましい掛け声とともに関係町内の神輿が渡御。
場/友部駅前周辺
問/八雲神社夏季例祭実行委員会

八坂神社の祇園祭

8/2(土)~8/4(月) (予定)
八坂神社の神輿や子ども神輿が、市内を練り歩きます。日が落ちてからは八坂神社の神輿のほか、4基の大人神輿が練り出し、祭の夜を彩ります。
場/笠間稲荷神社門前通りほか
問/社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama

アトリエちびくろの夏まつり

8/3(日) 14:00~18:00
武蔵野美術大学による、こどもたちとの図工教室。もぎ店、作品展示、アトラクションほか。
場/笠間市岩間体験学習館「分校」
問/fax 0299-45-0701

全国こども陶芸展 in かさま

8/7(木)~8/19(火) 展示
場/茨城県陶芸美術館 県民ギャラリー
問/茨城新聞社企画事業部 tel 029-221-3155

第3回ピアマグ展~やきもの通りの夏市~

8/13(水)・8/14(木) (予定)
やきもの通り関係の若手陶芸家を中心とする、夏の陶器市です。
場/やきもの通り
問/やきもの通り商店会
奥田製陶所 tel 0296-72-0717

十六夜まつり

8/13(水)・8/14(木) (予定) 18:00~21:00
笠間芸術の森公園にほど近い、陶の小径(とうのこみち)では、地元の陶芸家や窯元などが制作した約600本の陶の筒灯りが歩道に並べられ、幻想的な夏の夜を演出します。
場/陶の小径
問/やまさき陶苑 tel 0296-72-6865
www.yamasaki.e-kasama.jp

笠間のまつり

8/16(土) 18:00~21:00(予定)
8/17(日) 18:00~21:30(予定)
笠間の夏を彩る恒例のお祭りです。初日には「灯笼流し」、最終日には「光のオブジェ(ねぶた&神輿パレード)」が行われます。市民手作りのねぶたや、「ラッセラー、ラッセラー」の掛け声で知られる跳ね人による盛り上がりは圧巻です。
場/笠間稲荷神社周辺
問/社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama
笠間市商工観光課 tel 0296-77-1101

アマチュア陶芸大賞かさま2008

展示 8/23(土)~9/7(日) 9:30~17:00
受付 7/23(水)~7/28(月)
場/茨城県陶芸美術館 2F県民ギャラリー
休/月曜(祝日の場合は翌日)
問/笠間工芸の丘内アマチュア陶芸展事務局
tel 0296-70-1313
www.kasama-crafthills.co.jp

岩間夏まつり

8/31(日) 18:00~20:00(予定)
幌獅子・山車・神輿・こども手作り神輿・ちりから踊りなどが、岩間駅前通りを練り歩きながら競演。
場/岩間駅前
問/社団法人 笠間観光協会 tel 0296-72-9222
www.intio.or.jp/kasama

センチュリーラン笠間2008

9/7(日) ※雨天決行 受付・車検/6:30~7:30
開会式/7:30 出発/8:00~
笠間を出発し、筑波山を1周する、本格的なサイクリングのイベントです。
場/笠間芸術の森公園
コース/A:フルセンチュリー(約155km)、B:ショートコース(約93km)
申し込み受付期間/7/22(火)~8/11(月) ※締切厳守
申し込み先・問/茨城県サイクリング協会
tel 029-282-0039 http://www.7a.biglobe.ne.jp/~ica/
※日時等の変更の可能性あり。電話・ネット等で要確認。

北山公園・キャンプ場

北山公園には、使用料が無料のキャンプ場とバーベキュー場があります。鉄板なども無料でレンタル出来るので、食材だけ用意すればOK。
料/無料(キャンプ場使用料、ほか)
問/北山公園管理事務所 tel 0296-78-3911

スカイロッジ・バーベキュー広場

愛宕山頂近くにあるスカイロッジのバーベキュー広場が、宿泊しなくても使用可能です。
営/10:00~14:00(スカイロッジ宿泊者は21:30まで)
料/1セット2,550円
問/スカイロッジ管理事務所 tel 0299-45-6622



芸妓さんがいる街

今回の笠間再発見！は、笠間芸妓組合の事務所で月2回行われている、芸妓さんの稽古の様子を見学させていただきました。これをきっかけに、風流な笠間の夜を楽しんでくださいな！



↓笠間旅館組合・笠間料亭組合のホームページはこちら。
<http://www1.ocn.ne.jp/~kasama/>
 芸妓さんと呼べる旅館や料亭が一覧になっています。

お座敷で踊りと唄を披露する芸妓の皆さん。本格的な芸も盛り上がります。

踊りの指導は芸妓の皆さんから「お母さん」と呼ばれて親しまれている貴子さん（所属／貴之路）が中心になって行います。踊りは若柳流（わかやぎりゅう）と呼ばれる本格的な日本舞踊。若柳流は花柳界で発展したため手振りが多く、品のある日本舞踊として知られています。取材したこの日は、来月に踊る長唄「岸の柳」の稽古が行われていました。昭和60年当時は約130名が在籍した笠間の芸妓さんですが、現在その数はわずか15名（置屋は11軒）。その中で三味線が弾けるのは、組合長のみち丸さん（写真左、所属／みち乃家）だけになってしまいました。



中井川 真理子さん（かさま観光大使・2年目）
 見た目はやわらかい動きなのに、やってみたら思ったより力が入ってしまいます。

笠間再発見！ VOL.015

かさま観光大使が
 芸妓さんの稽古を体験！



内桶かおるさん（かさま観光大使・1年目）
 今日は白塗りにされるのかと思っていました(笑)。和服で腰を落とす動きが難しかったです。

花柳界で発展した本格的な日本舞踊、笠間独自の唄もあり

笠間は茨城で唯一、現役の芸妓さんがいる街です。大正時代に設立された笠間芸妓組合を中心に花柳界も健在。笠間市内の旅館や料亭から予約すれば、今でもお座敷に芸妓さんたちを呼ぶことができます。玉代と呼ばれる料金は芸妓さん1人が2時間のお座敷で14,175円(税込)。踊りを見たり、お座敷遊びをしたり…笠間へ来たならぜひ、風流な夜の遊びを楽しんでください。

踊りは花柳界で発展した若柳流と呼ばれる本格的な日本舞踊。50年ほど前に作られた「笠間音頭」「笠間節」「笠間小唄」という地元の唄もあります。今回の企画では、かさま観光大使の2人が稽古を体験させてもらいました。ただ、本格的な日本舞踊をその場で修得するのは難しかったようで…明らかに動きが違ってました(笑)。踊りを覚えるには、通常3年ぐらいかかるそうなので、当たり前ですね。笠間の芸妓さんたちが、未永く活躍できますように！

組合事務所の2階で月2回行われている踊りの稽古を見学させていただきました。

笠間ファン倶楽部 *活動報告* たけのご狩りツアー&愛宕さんちの山里体験ツアーを開催！



←たけのご狩りの達人の鎌さばきはお見事！

山里体験ツアーでは、春の山里を山菜を摘みながら、のんびりと歩きました。→



笠間の自然を満喫する笠間ファン倶楽部のツアーが、2つ開催されました。1つは「たけのご狩りツアー」。達人指導のもと、旬のたけのこを狙い、みんなでひたすら鎌(くわ)を振り下ろしました。ひと汗かいたあとは、自作した竹のマイ箸や竹の器を使い、たけのこ料理に舌鼓。さらに午後は、のんびりと田舎のあぜ道を散策しながら分枝へ出発。たけ馬やたけとんぼ、ペーゴマなど、昔なつかしの遊びで思い思いの時間を過ごしました。もう1つは「愛宕さんちの山里体験ツアー」。野草の達人の案内で、山里の春を探しに行くこのツアー。かごを片手に、せり・よもぎ・ふきのとう・タンポポ・つくし・のびるなどを摘みながら、春の山里をゆっくりと歩きました。その後、愛宕山を登って、スカイロッジに到着。摘んだ自然の恵みを天ぷらにして、春の香りを丸ごといただきました。また、栗の産地としても名高い笠間。午後は栗の木の剪定作業にも挑戦しましたよ！

Made in KASAMA

メイド・イン・笠間で行こう!

【その13】ジャム製作 楽農工房

地元の果物と野菜を使った手作りのジャム

楽しく農業をしながら、安全でおいしいものを提供したいと、笠間市内の6人の農家の奥さんたちが「楽農工房」(代表・鈴木 かつ子さん)を平成14年4月に立ち上げました。笠間クラインガルテン内に工房があり、地元で採れた新鮮な果物と野菜を使って、手作りジャムを作っています。種類は常時6種類。本戸で採れたりんごを使った「りんごジャム」。通常は完熟で作るところを青梅からアクを抜いて作られた「うめジャム」。300本ものブルーベリーを植栽し作られた「ブルーベリージャム」。そして、厳選したいちごで作る「手づくりいちごジャム」。このジャムは地元の食材を使おうという考えから、市内の学校給食で利用され、子どもたちにおいしいと喜ばれています。さらに、スタッフ自家製のヤーコンを使った「ヤーコンと桃の香りジャム」と、健康に良い赤い果実と野菜を混ぜた「真っ赤な主役たちのジャム」があります。6種類のジャムは150gの瓶に入っており、いずれも420円(税込)。ほかに、季節や受注状況

によりですが、前川牧場(笠間市)のジャージーミルクを使用したジャムや、岩間地区名産の栗を使ったジャムなども作られています。こちらは150gで600円(税込)。

こういった楽農工房の活動に協力的な人たちも多く、特に瓶に貼るパッケージシールやジャムの材料調合については、笠間駅前の人気洋菓子店「グリュイエール」(代表・根本 健一さん)の指導、協力をいただきました。周りの人たちの協力を得ながら、販路も少しずつ増えていき、現在では県内十数か所、この手作りジャムを買うことができるようになりました。楽農工房のスタッフも、自分たちで作ったジャムをひとりでも多くの人に知ってもらおうと、イベントなどを通じ、積極的にPR活動を行っています。その努力が実って平成17年には、茨城県の農産加工コンクールで「ブルーベリージャム」が、最優秀賞を受賞しました。今年は立ち上げから7年目。これからも安全でおいしい手作りジャムを提供してくれることでしょう。



工房は笠間クラインガルテンの中にあります。



厳選したいちごで作られるジャム。おいしさが違います!



ジャム製作 楽農工房 SHOP DATA
 住/笠間市本戸4258(笠間クラインガルテン内)
 問/0296-74-3546
 (笠間クラインガルテン内 農産物販売所)
 営/9:00~17:00 休/月曜日
 問/0296-70-3133

FAN FAN KASAMA

笠間好き集まれ! ファン! ファン! カサマ ※本誌に関するご意見、ご感想をお待ちしています。

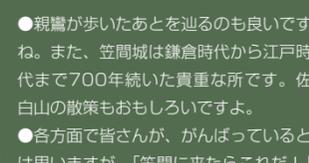


ふるさと案内人/南 秀利(みなみひでとし)さん

昭和12年7月、東京生まれ、小学1年まで暮らす。その後、父親の田舎である鹿島へ強制疎開。小学4年の時、叔母を頼って友部町に越えて来て以来、この地で暮らす。笠間高校で19年間、教鞭をとり、退職後、現在は、笠間市教育委員会社会教育指導員として、友部公民館に勤務。趣味は囲碁、茶道(表千家)で茶の湯教室も開く。2人の子供は独立し孫は3人。現在は奥さんと2人暮らし。笠間の歴史に造詣が深く、その分野で分からない事があると「南先生に訊こう」となることが多く、たくさんの人から喜ばれている。

子供達には、ここに住んでいることを誇りにしてほしい。

- 笠間は古い城下町。歴史・文化の伝統がある良いところ。自分が歴史と深く関わってきたので、そちらの方面で伝えていけたらと思っています。
- 県内で一番、観光客が訪れているのですが、それは陶芸祭等のイベント開催中のこと。その割に街中は淋しいです。
- 歩ける範囲でも、お寺や神社がたくさんあります。歴史を学びながら街中を歩けるような、それが心の安らぎとなるようなコースをいくつか作って、楽しんでもらいたいです。



ファンファンインタビュー

●親鸞が歩いたあとを辿るのも良いですね。また、笠間城は鎌倉時代から江戸時代まで700年続いた貴重な所です。佐白山の散策もおもしろいですよ。

●各方面で皆さんが、がんばっているとは思いますが、「笠間に来たらこれだ!」というおみやげが無いのが残念です。「時習志士の会」という会に入っているのですが、イチヨウの苗木を配って育ててもらい、ギンナンを取ってそれを配布し、新商品の開発に役立ててもらっています。

●今一番やりたいことは、地元の子供達に笠間の良い所を案内したり、体験させたりすること。未来を担う子供達が、ここに住んでいることを誇りに思えるようになってほしいと思っています。



佐久間 良和(さくまよしかず)さん

昭和23年11月、岩間町に生まれる。18歳の時に就職のために上京し、以後32年間東京で暮らす。子供達も独立し、平成12年退職を機に奥さんとふたり田舎へ戻り、自分達だけでログハウスを建て、暮らしている。趣味は釣りやマラソン。県内各地の大会で、フルマラソンを走る健脚の持ち主。



●長い間東京で暮らしてきましたが、歳を取って、一人残した母親が心配になってきたのと、自分自身も田舎で暮らしたいと考えるようになってきました。若い時は、東京に憧れて出て行ったんですけどね…。それで、50歳で早期退職して、帰ってくる決心をしました。でも、どうせ帰るなら、夢を持って帰りたいと思いました。その夢が、自分で建てるログハウスでした。妻も快く同意してくれて、ふたりの家造りが始まりました。竹藪を開墾して整地し、地元の山の杉の木を切り出し、皮を剥く。家の間取りも描きました。妻はその間に、クレーンを憶えてしまいました。ガスと電気以外は、全て自分たちでやりました。ログハウスは保温性が良い。夏は涼しく、冬は薪ストーブで暖かい。快適な住み心地で、健康そのものです。自分自身で夢と目標を持って来れば、田舎暮らしは素晴らしいものになります。田舎の人は、人は良いけど、少し閉鎖的な所があります。ちょっと心を開いてもらって、多くの人々が田舎暮らしを楽しんでくれたらなあと思います。そのためにも、家を開放して、人が寄れる所にしていきたいと思っています。

声 ファンファンボイス

~会員の皆様の声、いただきました~

- 古い歴史や文化のまち笠間。お稽古事や習い事の情報紹介を行い、定期的に笠間に訪れられるような取り組みを行ってはいかがでしょうか。それにより美術館等に訪問する機会も与えられるような気がします。(茨城・女性)
- 定年が数年後に迫り、東京を離れどこか地方で暮らしたいと思っています。親しい友人が筑西と水戸におり、彼らの近くに居を構えたいと思うようになりました。じっくりと調べて決めたいと考えています。歴史、人、自然を知りたいと思います。(東京・男性)
- 笠間市に入ると、長い歴史を感じる商店に思わず目が惹かれます。美術館やフランス料理の店が街中に溶けあう街。いつか隅々まで散策したいと思っている大好きな地域です。笠間焼もまた、そんな古き新しさが混在するところに魅力を感じています。(茨城・男性)

KASAMA NEWS *こくぶん祭の開催迫る!*



第23回国民文化祭 いばらき2008 平成20年11月1日(土)~9日(日)

国民文化祭・いばらき2008が、平成20年11月1日(土)から9日(日)まで、県内各地で開催されます。笠間市では、「笠間・炎の祭典」と「ストーン文化フェスティバル」という題名で、笠間芸術の森公園を中心に下記のようなプログラムを開催します。この機会に笠間の文化を堪能して下さい!

「笠間・炎の祭典」

匠のまつり 時/平成20年10月31日(金)~11月3日(月・祝) 場/笠間芸術の森公園
 酒と食と器展 時/平成20年11月1日(土)~11月3日(月・祝) 場/笠間芸術の森公園
 花と器と炎展 時/平成20年11月1日(土)~11月9日(日) 場/笠間工芸の丘、窯業指導所、笠間芸術の森公園 野外ステージ
 国民文化祭関連特別企画展 時/平成20年11月1日(土)~11月9日(日) 場/笠間日動美術館、春風萬里荘、稲荷美術館、茨城県陶芸美術館

「ストーン文化フェスティバル」

いばらきストーンフェスティバル 時/平成20年10月31日(金)~11月3日(月・祝) 場/笠間芸術の森公園
 いなだストーンエキシビジョン 時/平成20年10月31日(金)~11月9日(日) 場/中野組石材工業(株)石切場

観光客が選ぶおすすめショップ

木の温もりを感じるレストラン



人気のオムライス、常陸牛を使ったハンバーグなど洋食を中心に、和食やお子様メニューも豊富。60名収容可能で宴会やパーティーもOK。季節毎に変わる宴会メニュー(2,500円~)は茨城県産の食材を使いボリューム満点です。要予約の個室(4~10名)あり。また、日替わりランチ(970円~)の手作りポタージュは隠れた人気メニュー。誕生日や記念日のコースメニューでは、お店から音楽と花火付きのハッピーパフェを心を込めてプレゼント。巴里の田舎にある納屋をイメージした、木の温もりを感じるレストランです。

巴里の食卓 友部店

住/笠間市八雲1-10-31
 問/0296-78-3577 年中無休
 営/平日11:00~15:00、17:00~22:00
 土日11:00~16:00、17:00~22:00

新鮮な季節の味を召し上げ!



梅工房

住/笠間市福島550(工房のみ)
 問/0299-45-3921
 営/8:00~20:00
 休/不定休

オープン3年目になる梅工房の上野さんが、去年から力を入れているのが、地元産の新鮮な野菜や果物を使ったゼリー(1個135円)。トマト、キウイのほか、季節ごとに、いろいろな味を楽しむことができます。JA直売所「土からのたより」「みどりの風」「めばえ」などで毎週土・日・月曜のみ販売されています。数に限りがあるので、お早め!



アートな空間のカフェごはん



CAFE OKATTE

住/笠間市笠間2116
 問/090-4818-5188
 営/12:00~19:00(土・日のみ)

様々なアートイベントを発信している「笠間花香町大谷倉庫」にあります。コーヒー、紅茶のほかに「おかって定食」がおすすめ。その日、食材の仕入れによって内容が変わります。ステキな照明の空間には若手アーティストの作品が飾られ、中2階にはギャラリー、ワークショップなど、使い方自由のレンタルリーススペース(平日3千円、土日祝5千円)があります。



平成駅弁花盛り 文・小林しのぶ (トラベルジャーナリスト)

ここ数年の駅弁人気は著しい。以前は冬の風物詩であった百貨店やスーパーマーケットの駅弁イベントは、いまや通年行われているし、列車内だけでなく、自宅やオフィスで駅弁を食べる光景も当たり前になりつつある。駅弁はすでに“ブーム”を終え、“定着”の時代を迎えたのを実感する。

駅弁がいま、広く受け入れられるようになった理由をキーワードに置き換えると、「本物の食材」「健康志向」「より狭域の郷土料理」「新作ブーム」が挙げられる。産地が明確な米や野菜、添加物を極力抑えた調理、市町村単位の郷土料理を取り入れた内容、そして、季節ごと、イベントごとに登場する新作弁当の数々……。駅弁はこれらをすべて取り込んでいる点に魅力があり、他の弁当と大きく一線を画しているポイントだ。

とくに最近、新作弁当は全国の駅で登場する頻度が高く、駅弁ファンにとってはうれしい限り。しかも年々、技も味もレベルアップしている。季節限定の弁当に至っては、二週間限定、1カ月限定などもあり、現地に食べにいく間もなく販売終了の声を聞く事もしばし。このサイクルの早さがまた、駅弁ファンを増やしているのかもしれない。

ところで駅弁には、調製元の「性格」や「姿

勢」がよく現れている。うまい駅弁は素直でやさしい味付けだし、見栄を張らない、着飾らない。それは、調製元を代表する社長の人格そのものだ。億単位の売り上げがある大会社から、家族経営の店まで、調製元の規模はさまざまで、当然だが人気駅弁もまた、規模に比例してはいない。

室蘭本線の母恋駅に「ぐるっと美味しい噴火湾」という駅弁がある。調製元の「プロトトン」は家族で駅弁を作り、駅売店にも立つ家族経営。ご主人は関根勝治さん。室蘭港のマリーナに開いている喫茶店「プロトトン」のオーナーであり、貝工芸作家。同様に妻の久子さんも銀粘土の工芸作家というアーティスト夫婦の調製元だ。二人に息子さんを加え、早朝から駅弁を作り販売。第1弾のホッキめしの駅弁「母恋めし」に続いて、第2弾のホタテめし「ぐるっと美味しい噴火湾」の販売となった。

また、小淵沢駅の駅弁「風林火山」を調製する「丸政」は大正7年創業の老舗。社長の名取政仁さんは、常に駅弁業界に新風を送り続けるアイディアマンで、最近では、注文をしてから揚げるため、あつあつの作りたてサンドが食べられる「甲州かつサンド」を発表。注目を浴びた。大河ドラマに合わせて発売さ



小林しのぶ/プロフィール●千葉県生まれ。海、酒、駅弁、そして温泉をこよなく愛し、年間150日を旅の空の下で過ごす。温泉の達人、駅弁愛好家としてさまざまなメディアに登場。駅弁は今までに5,000個以上を食破。新作駅弁のプロデュース、台湾での駅弁作り、道楽弁当(どらべん)の監修なども行っている。おもな著書に『小林しのぶ厳選 駅弁・空弁』(世界文化社)、『この駅弁が旨い!』(角川ONEテーマ21)、『ニッポン駅弁大全』(文藝春秋)、『駅弁スーパーレディ』(ぶんぶん書房)ほか。

れた「風林火山」は掛け紙と同じデザインの紙袋付きという粋な駅弁。小淵沢駅の定番駅弁として長く愛されていきそうだ。

笠間には名物稲荷寿司がある。でも、笠間駅に駅弁はない。ここはひとつ、笠間で名物駅弁を作るプランを立ててはいかがだろうか。もちろん、新作駅弁のためには、惜しみない協力・参加をさせていただきます。駅弁は楽しい、おいしい、そして夢がある。日本を代表する食文化のひとつ、駅弁。笠間のみなさん、いかがですか？

笠間ファン倶楽部 *活動報告*



笠間ふるさとPR隊~プレ笠間の陶炎祭~

3月に東京銀座の日動画廊と数寄屋橋公園にて「笠間ふるさとPR隊~プレ笠間の陶炎祭~」を開催しました。笠間ファン倶楽部会員の皆様への感謝と、春の観光PRを兼ねたこのイベント。当日は訪れていただいた多くの方々に、桜やイチゴ、米などの農産物をプレゼントさせていただきました。今後もまた実施をしようと思っておりますので、皆さんどうぞお楽しみに！

笠間ファン倶楽部 *会員募集中*

笠間ファン倶楽部は、笠間の隠れた情報を発信し、交流人(外の目)が多く笠間人(内の目)とふれあえる場をつくる新しい仕組みです。笠間人も交流人も、互いに心の豊かさを感じられるような場にしていきたいと思っています。なお、会費は無料ですので、ぜひ皆さんお申し込み下さい。

●会員特典/レンタサイクル1日料金を半額(800→400円)、宿泊料金10%割引(一部旅館のみ)、本誌の発送(年4回)ほか多数!

●申込み/住所、氏名、メールアドレス、生年月日、笠間市への応援文等をご記入の上、はがき・FAX・メールのいずれかで下記へ。

申込み先/笠間市 産業経済部 商工観光課

〒309-1792 茨城県笠間市中央三丁目2番1号
TEL 0296-77-1101 FAX 0296-77-1146
E-mail kasamafan@city.kasama.ibaraki.jp

笠間 アクセスマップ

電車からのアクセス

東京方面から
上野→(JR常磐線・特急65分)→友部→(JR水戸線10分またはかさま観光周遊バス20分)→笠間
上野→(JR常磐線)→岩間→(JR常磐線6分)→友部→笠間
東北方面から
郡山→(JR東北新幹線80分)→小山→(JR水戸線60分)→笠間
→(JR水戸線10分)→友部→(JR常磐線6分)→岩間

車からのアクセス

東京方面から
三郷JCT→(常磐自動車道40分)→



！なるほど笠間辞典/芸妓さんがいる街
笠間は茨城県で唯一、芸妓さんがいる街です。今でも15名の芸妓さんが活動を続けています。笠間芸妓組合は大正時代の設立。同組合事務所2階では月に2回、踊りの稽古が行われています。(笠間再発見!のページ参照)

笠間市基本データ 人口: 80,491人 (2008年5月現在)
面積: 240.25km² 駅の数: 6駅 高速道路ICの数: 4箇所

この機関誌は、再生紙、大豆油インクを使用しています。

